

専攻科の学生らが、いい川・いい川づくりWS公開選考会で『準グランプリ』を獲得しました！

9月9日・10日に全国から44団体が参加して行われたいい川・いい川づくりWS公開選考会において、専攻科1年の平子らにより複数の関係機関と連名で取り組んでいる「寝屋川ユースネット」が『準グランプリ』（「若いパワーで若返ったで賞」）を獲得致しました（指導教員：都市環境コース 鯉坂准教授）。このワークショップはいい川・いい川づくり実行委員会（NPO全国水環境交流会）が主催し、国土交通省等が後援する大会で地域おこしや環境保護などに取り組む北海道から鹿児島県までの全国44団体が発表を行いました。また、本校専攻科2年の安原・傳らが参加した「チーム寝屋川」も入選となりました。



寝屋川ユースネット

「寝屋川ユースネット」は、寝屋川の淀川水系（主に点野地区）を中心に広く水辺環境の改善に取り組む若者組織で市民団体（ねや川水辺クラブ/Jr.、ほぼっぼくらぶ）とともに4つの学術機関（摂南大学、**大阪府大高専**、大阪電気通信大学、西寝屋川高校）が連携を図りながら活動を行っています。



第10回いい川・いい川づくりWS2017 では「寝屋川ユースネット」として若者たちが連携して取り組んでいる内容をプレゼンしました！

寝屋川ユースネットは、寝屋川市内で河川・水辺の保全活動や親水活動を行う学生・高校生・市民らの団体です。各自治体で環境活動を行うメンバーの若返りが課題となっている中、「市民工事・市民管理」を「若者」が取り組んでいる点に特徴があり、「淀川丸ごと体験会」などのイベントや、ため池（山新池）の市民管理や点野砂州ワンドの市民提案、寝屋川クリーンリバーと銘打った河川清掃活動などを共同で行っています。また親水活動（摂南大によるEポート）、減災市民活動（高専による浸水歩行体験キット）、啓発イベント（電通大による葦からの和紙づくり）など、個性的な内容を連携しながら取り組んでいるアプローチ方法が高く評価され、『準グランプリ』の獲得につながりました。9月26日に寝屋川市・北川法夫市長へ表敬訪問するとともに、10月4日に本校・藤原校長に成果報告を行いました。

<寝屋川ユースネットでの様々な取組み例>



Eポート



浸水歩行体験



環境教育



魚釣りイベント



葦笛づくり



反省会



寝屋川市長への表敬訪問&本校への成果報告

